



# ちゅらハウス1号館

## 五領域 支援プログラムの紹介



### 健康・生活

基本的な生活スキルの向上を目指し 場面に応じた個別・個室の環境設定整備で 落ち着いて活動に参加できるように 支援を行っています  
検温・手洗い・うがい・トイレの誘導ルーティン・おやつ作りやクッキング等での食育等



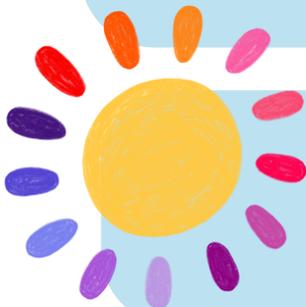
### 認知・行動

視覚的なツールでも スケジュールやルールを表示し スムーズに活動に参加  
「アートセラピー」や「制作活動」を通し「色」「形」「数」「空間」等の概念の形成を図る  
怒りの感情がある時に 自分でコントロール出来るように クールダウンスペースを確保する  
天気・気温・日付の把握と確認による 感覚・数の認知形成



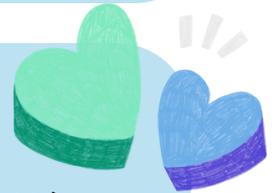
### 運動・感覚

「随意運動」「園外・室内での運動あそび」を通し 基本的な動作の向上を目指す  
「動作法」を取り入れ 動作の改善をはかる  
「3B体操」(楽しくリズムカルに体を動かしながら全身を鍛え心身をリラックスさせる)  
「空手」(武道を通して礼儀作法の習得や心身の発達育成を図る)



### 言語・コミュニケーション

「SST」を行い 社会の中で暮らしていくための基本的なスキルの獲得を目指す  
活動や生活の振り返りの中で 気持ち伝える体験の場を設ける  
長期休暇時は子どもたち主体のグループ活動実施(みんなで協力しながら楽しく過ごす)  
「空手」(武道を通して礼儀作法の習得や心身の発達育成を図る)



### 人間関係・社会性

集団での遊びや活動を通し ルールを覚えたり役割分担を理解し合う  
「SST」でのロールプレイを通して模範行動の支援を行う  
多様な子どもたち 異年齢の子どもたちの 交流活動の提供  
「お買い物体験」で お金の使い方や購入行動を練習し お金や人とのやり取りを通して  
社会自立 参加を目指した生活力を養う  
社会体験や地域との交流の場を設ける

